

(社) 日本建築学会近畿支部
2006 年度第 2 回空気環境部会議事録 (案)

日時 : 平成 18 年 10 月 27 日 (金) 14:00~17:30

場所 : 大阪市立大学文化交流センター 小セミナー室

出席者: 阿部、清田、竹林、榑崎、西岡、新田、橋本、山際、山中 (主査)、甲谷 (幹事)、東 (幹事)
濱口 (オブザーバ、大阪大学M2)、Lim (オブザーバ、大阪大学M2)

(委員 11 名+オブザーバ 2 名、計 13 名)

資料 :

2-0 : 第 2 回空気環境部会議事次第・第 1 回空気環境部会議事録 (案)

2-1 : 高層オフィスビルにおける自然換気併用タスクアンビエント空調に関する研究: 空気調和衛生工学会学術講演論文集, pp.1381-1388 (2006)

選択型床吹出し口を持つタスクアンビエント空調に関する研究—夏季の实在オフィスにおける居住者周辺の温熱・空気環境: 日本建築学会大会学術講演梗概集, pp.1081-1084 (2006)

2-2 : 自然風の統計値に基づく換気設計法に関する研究 (その 5) 換気量の時間変動が室内汚染物濃度の変動に及ぼす影響, 日本建築学会近畿支部研究報告集, pp.209-212 (2006)

同 (その 6) 換気量の変動が室内汚染物濃度の変動特性に及ぼす影響: 日本建築学会学術講演梗概集, pp.727-728 (2006)

2-3 : 街路空間の熱環境に関する研究 その 2 風通し環境に関する実測調査と数値計算による考察

2-4 : 学習環境におけるプロダクティビティ向上に関する研究 (その 8) 温熱・空気環境の質が学習効率に及ぼす影響に関する現地実測: 日本建築学会学術講演梗概集, pp.901-902 (2006)

同 (その 9) 温熱・空気環境の質が学習意欲, 効率に及ぼす影響に関する被験者実験, 同 pp.903-904 (2006)

同 (その 10) 被験者実験による学習意欲, 効率の評価分析, 同 pp.905-906 (2006)

冷房設定温度 28°C 環境における知的生産性評価, 同 pp.447-450 (2006)

2-5 : トレーサーガスを用いた換気測定法における温度変化・外気濃度変化の影響に関する検討, 日本建築学会学術講演梗概集, pp.687-688 (2006)

シックハウスにおける室内空気質と居住者の健康状況に関する調査研究 その 11 長期追跡調査の結果とまとめ, 同 pp. 911-912 (2006)

同 その 12 シックハウス対策の効果に関する検証, 同 pp.913-914 (2006)

議事 :

1. 山中主査あいさつ

2. 第 1 回空気環境部会議事録 (案) を確認し、承認された。[資料 2-0]

3. 第 3 回空気環境部会の開催について:

・ 2007 年 1 月第 2 週~3 週に見学会を実施する方向で検討することとした。中ノ島新線、松下研究所等など、候補を検討する。

4. 第 4 回空気環境部会の開催について:

・ 内容は勉強会とし、開催時期は 3 月を目処に調整する。

5. 2006 年度建築学会大会学術講演会の空気環境論文を中心として、検討 (発表、質疑、討論) を行った。発表者および内容は以下の通り。

1) Lim Eunsu (大阪大学M2) [資料 2-1]

2) 濱口知行 (大阪大学M2) [資料 2-2]

3) 竹林英樹 (神戸大) [資料 2-3]

4) 東実千代 (奈良女大) [資料 2-4]

5) 甲谷寿史 (大阪大) [資料 2-5]

以上